

令和3年度第3回富里市産業振興推進会議会議録

- 1 日 時 令和3年11月16日（火）午後3時から午後4時15分
- 2 場 所 富里市役所分庁舎2階大会議室
- 3 出席者 （委員）※敬称略
小川加苗、寒郡茂樹、根本実、飯寄富雄、田島晃一、
延原利恵子、海宝敦、高橋益枝
（アドバイザー）
中山健
（事務局）
経済環境部長、農政課長、商工観光課長、商工観光課事務局
（有識者）
なし
傍聴人なし

〔会議次第〕

- 1 開 会
- 2 会長挨拶
- 3 議 題
 - (1) 第二次富里市産業振興ビジョン（案）について
 - (2) 第二次富里市産業振興ビジョン（案）策定スケジュールについて
 - (3) その他
- 4 その他
- 5 閉 会

〔会議概要〕

- 1 開 会
過半数以上の委員の出席により、富里市産業振興推進会議の運営に関する要綱第3条第2項の規定により会議は成立
- 2 会長あいさつ
（寒郡会長あいさつ）

【議長選出】

要綱第3条第1項の規定に基づき、寒郡会長が議長となる。

3 【議題1】

会 長 それでは、議題の（1）第二次富里市産業振興ビジョン（案）について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （資料により説明）

会 長 説明が終わりましたが、ご不明な点、ご意見等ありましたらお願いします。

A委員 事業承継に絡んでくると思うのですが、創業についてなのですが、先週の土曜日まで商工会で創業セミナーを5回行ったのですが、受講者が確か8人から9人いらっしやったと思うのですが、創業セミナーを受ける方で、ちゃんとした目標がある人もいれば漠然と何かをやりたいのだけれども、なんとなくまだボヤッとしているからはっきりさせたいという目標の方もいます。ここ何年か創業セミナーを開催しているのですが、実際に創業に結びつく方というのが、資金的なものだったり計画が上手くいかなかったりということで、全員が全員創業に結びつかないというのが現実で、意欲のある方をバックアップするような体制は今後、富里市の中でも必要なのかなと思っています。

会 長 ご意見としていただいてということで良いですね。

事務局 はい。ありがとうございます。

B委員 私においては農業におけるところで、今日はこの中では、SDGs についての話もでてきました。農協グループとしてもSDGs、17項目ありますけれども、色々と関りがあまして、勉強会等もやっております。農家の方は認識が薄いので、今後、どうやって知らしめていこうかといったところです。個人的にはジェンダーについて考えた方が良いのかと思っております。それはどうしてかということ、男女平等の中で、当農協も、女性の管理職等が本当に少ない状況で、男性の目線で色々と出来上がっている。会議の時間帯にしても、長時間行う

等するのですが、女性も交えて行うには、女性の意見を取り入れた時間帯とかそういうことも考慮した方が良いのかと思います。SDGsの中では意外と取りざたされるジェンダーというのは、NHKでは、特集を組んでおりますけれども、影になっているかなという気がします。

それから、市長も変わりました、特産であるスイカのPR、そして今、人参の出荷になっておりますけれども、市の支援を受けております。コロナ禍でも第一次産業である農業、農産物の売上につきましては、横ばいからやや多いくらいで、農家はまずまずです。スイカについても「ふるさと支援寄附金」や「ふるさと納税」も随分注文が来ていて、本当に感謝しております。今後も継続していただければという思いであります。農協も、これは全国的なことですが、後継者不足等も取り上げながら、農業は事業的には3年計画というものを行っております。また、10年を見据えてという議題で大会を行っております。一番のところは後継者の問題もあろうかと思いますが、何とか新しい後継者、あるいは継続的な出荷体制等を模索しているところを皆様に承知しておいていただければと思います。あと、資料の中では有害鳥獣に対する被害対策とありますが、市内では「有害鳥獣被害対策実施隊」が出来まして、その隊員になられた方は消防団員と同じ地位で、少ない額ですが日当まで出していただいて、そういう体制で今取り組んでおり、農林水産省でも評価していただいております。他の地域では、イノシシ等の被害が出ていて、こちらの方では足跡が出て、もう見かけるようになってきたのもありますけれども、情報共有ということで、防災無線や防災メール等で発信していただいております。サルが出没した場合も流しておりますが、今後も行っていただければ良いのではないかと思います。そういったところを次の情報共有の中で組み込んでいただきたいと思います。それと、豚熱等々も有害鳥獣からですが、イノシシ等を捕獲した場合には、その捕獲検査の中に豚熱の検査等を今後加える等、行ってもらいたいと思います。また、鳥インフルエンザも出ています。死骸等が出た場合には、検査をやっていただくというような体制もとっていただければと思います。そんな体制を益々やっていかなければならない。そんな時代になったのだと思いますので、よろしくお願いします。

C委員 私は、工業の代表で来ておりまして、すべてに共通すると思えますけれども、市街化調整区域、これが一番ネックでありまして、倉庫も建てられない。何か建てようとするとならば一からやらなくてはならない。ここで言うてもしょうがないのだけれども、自分の敷地内でも影響するので、それをどうにか工業代表として、工業団地に移ってかれこれ40年経ちますが、その時申請しています。未だにそれが解消されなくて、それをうまく利用して企業誘致と書いてありますが、どんなものがあるのか教えていただけたらというのがひとつと、それと今度、酒々井インターが出来まして、車が渋滞します。物流も大変で、そうするとみんな工業団地から出て行ってしまいます。市街化調整区域と渋滞がネックということでおっしゃってください。

事務局 富里市の中には二つの工業団地がございます、どちらも立地率が100%となっております。新たな工業団地というのは中々難しい状況で、市街化調整区域での企業誘致という中では、富里市の中での市街化調整区域をある程度エリア的にこの地域は、このように土地利用出来るかなと位置付けしたものがございます。その中で、位置付けに適した土地利用であれば、複雑な手続きで時間もかかってしまうのですが、都市計画の制度を使って工場ですとか、産業関係ですとかそういった色々な物が建てられる仕組みにはなっております。もしご相談する物件等があれば、ここは出来ますとか出来ませんとかいうお話は出来ると思っておりますので、その際はお声掛けいただければと思います。

会長 そのことについて、もっとワンストップで対応するとか、わかりやすくするとかということについては、しっかりと捉えていただいても良いのかと思っておりますのでよろしく申し上げます。

D委員 金融機関としてですが、新型コロナウイルス拡大の影響により資金繰り支援を必要とする企業はまだたくさんあります。一金融機関としてまして、引き続き富里市と連携を図りながら、経営安定化の促進を図っていきたく思います。また、スイカや人参をはじめとした農産物のブランド化、岩崎邸を活用した観光資源の創出とか観光プロモーション

ョンの活動の充実については非常に大きな期待を持っております。最後になりますが、企業誘致のところでも市街化区域の用地の見直しとか市街化調整区域の土地利用については手続きが煩雑だとは思いますが、スピード感というのが大切になってくるのではないかと思いますので、その辺を意識していかないといけないのではないかと思います。

E 委員 先程、創業セミナーのことをおっしゃっていましたが、私は第1回と第2回に参加して、創業をしようと計画したのですが、断念した経緯があります。ですから、おっしゃっていることはすごくよくわかります。それから、B委員がおっしゃられましたSDGs、これはやはり今のプランの中で、どこの課が受け持つかというのを、商工観光課だけではなく、課をまたいで手分けしていかなければいけないと思います。それから、農業ですが、就農支援補助金について、1千万円まで今度出るということです。最初に機械がないといくら畑があっても1人や2人で耕すのは大変だということで、国で出してくださるということみたいです。それと、農業次世代人材投資資金による5年間補助がありますよね。それも強化されるみたいですので、そういうのも全部使ってやっていったら良いのかなと考えました。

F 委員 確認というか、教えていただきたいのですが、昨年11月にA3の紙で今回の骨子のようなものご提示いただいたと思うのですがけれども、そのところ実際はこういう風に変えるという形になったということですよ。それでそれぞれ、農業・商工業・観光についてはアクションプランということで策定していくということで、そのアクションプランが今までやっていたような事業評価のシートでいくと、農業のアクションプランという中に、例えばですけれども、創ることだったら①、②、③でどんな事業をやったかで評価していくと、そういった形になっていくということですよ。もうひとつですが、産業振興ビジョンの中の、先程のお話の中で、上位計画で総合計画があって、総合計画の個別計画としてこのビジョンがあるということで、富里市のホームページを見させていただいて、総合計画の基本構想もパブリックコメントが終わってという状況で、令和4年度からの目標に総合計画も同時に進めていくということですね。基本構想を

見させていただきましたが、商工業、産業振興ビジョンに係るものは、半ページくらいの記載なので、特に齟齬はないと思いますけれども、総合計画を策定している部署と連携を取っていただいで整合性を取っていただければと思います。

事務局　　今の意見についてですけれども、資料1の8ページをご覧くださいればと思うのですが、総合計画の施策の体系を定めておきまして、その中で、タイトル4で「地域の良さを活かした富里ならではのにぎわいの街」という目標の中に組み込まれているものとしています。これから変更はないと思いますが、その時々情報を注視しながら策定に向けていきたいと思っています。

G委員　　創業セミナーのお話が出ていたと思うのですが、私もそのところがすごく気になりました。経済支援とセミナーの話とかで困っていることとか、わからないこととかを聞きに来ている、また、支援をもっと受けたいと思って来ている方たちにもう少し寄り添ってあげられると「創る・繋ぐ・培う」という言葉が皆様に浸透していくのかなと思います。それと、そこに来た方から感想を聞けるようになるのだいぶ浸透してきているのかなと喜ばしいことだと思えるので、もう少し一歩踏み出して心に寄り添って聞いてあげられるようになるのと良いのかと思います。

アドバイザー　　創業支援については、ご指摘のとおりだと思います。もう一歩、最近ハンズオフ型、「手取り足取り」というような意味ですけれども、その辺まで踏み込む必要もあるのかと思います。本当に売れるのかと心配している人も多いので、売る仕組みですとか成功事例ですとかあるいは需要予測の仕方ですとか診断士の方が得意だと思っておりますが、銀行の方も需要予測は得意なところだと思っておりますので、手助けをしてあげる。また、経営者と同業種の方をマンツーマンで一人つけてあげるような形で、色々なことを相談できるような形をとるだけでもかなり一歩を踏み出せるのかなと思いますので、そのようなことが出来れば良いと思います。それから、副業から始めるというタイプも最近増えていまして、副業やフリーランス、フリーランスも兼業の形が多いので、

土日だけフリーランスをやる、副業禁止規定が企業の中であったりしますので、なるべく積極的に外していただいて、副業ができるような体制が作れるとスムーズに移行出来ると思います。意識の簡素が出来れば良いと思います。

それから地域ブランドは極めて重要なことだと思います。富里ブランドをいかに作り上げるか、特に富里市の場合はスイカ、人参、岩崎邸という3つありますので、3つの視点から関連付けながらブランド形成を図っていくというのが良いと思います。特に岩崎邸は色々、整備が進んでいると思いますので、次の段階をどうするかということなのですが、個人的な案で恐縮ですけれども、岩崎といえば三菱グループだと思うので、4,000の企業数がある。三菱グループの研修機関のようなものを誘致する。社員の啓発場です。常に窓から岩崎邸が見えるとか、グループの理念といいますか、それを社員に浸透させる、そういうことが財閥には重要だと思いますので、できれば商社が良いのでしょうか、農業関係の商社でもあれば、食堂に地元の食材を持って行ったりして、ひょっとして取り上げられるのではないかと、そうしたきっかけになるのではないかと思いますので、もし可能でしたらそうしたところから何かきっかけが出来れば良いのかとっております。観光関係はポストコロナを見据えてということになると思うのですが、現状は全然動きがない。恐らく来年になると言われているのですけれども、3回目の接種が終わった後、飲み薬が出来て、待機医療がゼロになった途端に、すごい勢いでインバウンドが来るだろうということなので、そこは来年度を見据えた形で着々と準備を進めることが重要なのではないかと思います。それから後継者の問題、特に農業ですが、機械化が難しいという部分ですが、ベンチャー系のドローン会社で、卵のようなものを配送できるようなことを試験的にやっている企業がたくさんありまして、あとはロボットメーカーですとかそういったところと連携できれば重いスイカをトラックに載せる作業は、すごく大変だと思いますので、何らかの連携が出来ればいいのかなと思います。それと、確実なのが、空港の従業員が3万人増えます。そのうちの何%を富里に持ってくるかという、この辺が周辺の市町と競争になってくると思いますので、宿泊・住宅・研修施設等も含めて成田空港との交渉もあるでしょうが、少しでも多くの方に来ていただ

けるような具体的な方策が出来れば良いのかと思います。

会 長 創業支援の話が随分出ておりましたけれども、成田空港がコロナ後に、年間発着回数が50万回になったことを考えると、創業については、千葉県の中でも非常にやりやすい地域になる可能性があるので、その部分についてはもう少し手厚く、商工会で一生懸命やってはいますが、市でも予算措置くらいまで含めて考えていただけると助かります。伴走型ということですが、商工会も商工観光課も職員が多いわけではないと思うのですが、うまくコミュニケーションを取りながらやれると良いのかとは思いますが、それと、千葉県の総合企画部で国家戦略特区の申請を令和3年1月15日に行っています。土地利用の規制緩和というところが一番大きなメインテーマになっていますけれども、状況を聞いていますと、総合企画部としても、具体的な事例がないと国家戦略特区ということで認めていただけないというジレンマがあるそうです。富里市においては企業誘致に関する専門員も雇用されていらっしゃると思いますけれども、具体的にこうだと、具体的にこうなっていくと、具体的にこういう話があるのだということが実は国家戦略特区の認定にも影響するという事です。確かに、産業振興ビジョンの中に入れるのは非常に難しいかもしれませんが、アクションプランの中で、そういう状況を見据えたうえで作っていただければ、千葉県としては非常に助かると思いますし、たとえ国家戦略特区が取れなくても、この地域がどんどん活性化していくということですから市長もそういった考えの中で動いているというところも見受けられますので、アクションプランの中に具体的な方法を踏み込んで数値として出していただければありがたいと思います。

事務局 ただいま、皆様から創業支援についてご意見を多くいただきました。市としても例えば創業支援センターとの連携を強化する等、体制作りに入力を入れてまいりたいと考えていますので、よろしく願いいたします。

会 長 それでは、議題の（2）第二次富里市産業振興ビジョン（案）策定スケジュールについて、事務局から説明をお願いします。

事務局 (資料により説明)

会長 説明が終わりましたが、ご不明な点、ご意見等ありましたらお願いします。

B委員 アクションプラン等については、こういった内容で良いと思うのですが、行政の対応の中で、総合支援とかあるいは新規就農者支援の部分で、農業の新規就農者については、今までの無利息の融資等がありました。しかしながら、中には事業が上手くいかない場合もあります。融資審査の中に農協は入っていないのですが、お金だけは出す。返済不能に陥った分の回収も農協に回ってくる。そういうことも中にはあるということを皆様にも知っておいていただきたいなというところがございます。商業も、支援はするけれども、やっぱり厳しかった時に、どうするのかなというところも頭の中に入っていた方が良いのかと思い、意見だけ言わせていただきました。

E委員 創業支援セミナーを成田と富里で受講することになり、1回目と2回目に出席しました。創業のために資金がいるので、山林とか田畑とか遺産相続したので、それで担保できますかと聞いたら、銀行の方がそれはできませんと言われて資金不足で創業出来ませんでした。

A委員 実際に昨年など創業セミナーを受けて富里で開業をしている方もいらっしゃいます。家族の方が別の事業をしていて、そこからとかいう方もいらっしゃいます。創業でも色々な形があるのですが、断念するという背景には、資金繰りによるところがあると思います。借りられても返さなければいけないものなので、その辺が難しいのかと思います。

D委員 銀行からすると、事業計画を見させていただいて、まずはそこありきで、その後ちょっと足りないなという時に担保とかそういう話が出るかもしれませんが、基本は事業計画です。それでお金を借りていただいて、返していただけるかというところがポイントになっ

てくるかと思えます。

会 長 先程、アドバイザーがおっしゃったように、私も起業を幾つかしておりますけれども、資金は大変だった記憶があります。経験者と話をしながらアドバイスをいただくというのは非常に有効だと思います。そういうシステムのようなものを、もう少し踏み込んでくれれば創業する人も増えるかも知れません。

会 長 それでは、議題の（３）その他について、事務局から説明をお願いします。

事務局 （資料により説明）

会 長 他になければ、これで本日の議題については以上となります。

4 その他

事務局 事務局から３点ご案内があります。

「富里市中小企業等感染症対策協力金について」

「企業誘致専門員について」

「観光拠点の設置について」

5 閉 会